

令和 2年10月 9日

部会員 各位

一般社団法人 近畿化学協会
エレクトロニクス部会
部会長 松田 建児
(京都大学工学研究科)

令和2年度第1回研究会 ご案内 ＜オンラインによる講演会＞

拝啓 時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。

平素より本部会の運営に際しましては、種々ご高配を賜わり厚く御礼を申し上げます。

さて、早速ながら標記研究会を下記の通り開催致しますので、業務ご多繁のところ恐縮ながら、ご都合お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回は、新型コロナウイルス感染拡大抑止の観点から、オンラインによるライブ配信のみの講演としますので、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

(記)

日 時 令和 2年 12月 3日 (木) 14:00～17:10
実施方法 オンラインによる講演会 (ライブ配信)

テーマ 「希少金属を取り巻く基礎研究と国際マーケットの現況」

講演 ＜質疑応答時間 含む＞

1) 「希土類イオンを使った分子性磁性材料」 (14:00～15:00)

電気通信大学大学院情報理工学研究科 教授 石田 尚行 氏

希土類イオンは、大きな磁気モーメントと強い磁気異方性を有するために磁性材料の構成イオンとして有用である。実際に、高密度記録媒体やスピントロニクスを旨とした単分子磁石の開発において、希土類錯体は多くの関心を集めている。それらを合成開発する現場において、イオン依存性(化学的傾向)は興味深い課題である。希土類イオンの周期律はどのような形で発現するのか、それはなぜ起こるのか。

2) 「希土類を用いた分子発光体:開発と応用」 (15:00～16:00)

北海道大学工学研究院応用化学部門機能材料化学分野 教授 長谷川 靖哉 氏

蛍光灯に使われているユーロピウムやテルビウムは希土類の一種である。これら希土類に分子をとりつけた発光体を紹介する。ディスプレイから宇宙開発、そして農業展開について説明する。

3) 「2021年世界経済と商品市場動向」 (16:10～17:10)

(株) マーケット・リスク・アドバイザー 代表取締役 新村 直弘 氏

オバマ政権時代から米国が進めてきた自国回帰の動きがトランプ政権誕生から加速、年初に世界に拡大したコロナウイルスの影響で世界は親米・親中二分されることがほぼ確実になってきた。その中で商品の商流が変化し、価格の変動性も高まることが予想される。混迷を深める2021年の世界経済と商品市場動向を展望する。

◆全プログラム終了後、講師の先生を囲んで希望者のみのアフターディスカッションを行います。お時間の許す方は是非ご参加ください。(17:10～18:00頃)

【参加資格】エレクトロニクス部会会員:聴講無料 【申込締切】令和2年11月26日(木)

【申込方法】参加申込者1名につき、ホームページ上の <https://kinka.or.jp/form/view.php?id=60268> よりお申込みください。

【留意事項】※オンライン配信ツールは「Zoom」を利用します。Zoomアプリ、またはウェブブラウザ(Google Chrome 推奨)でご参加可能です。Zoomのアカウントを作る必要はありません。

※パソコン・タブレット等、質疑応答用のウェブカメラ・マイク等、オンライン配信ツール利用に際しての必要な機材・設備は各自でご準備ください。

※本講演は全てライブ配信のみとなりますので、開催日時のお間違いの無いようご注意ください。

※発表者の許可がない限り、受信資料の保存・録音・再配布は固く禁止します。

※参加申込者には、『11/30頃に「接続ID」等』の情報をE-mailにてお届けします。

※参加申し込みをせずに聴講することはご遠慮ください。

一般社団法人近畿化学協会 エレクトロニクス部会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL: 06(6441)5531 / FAX: 06(6443)6685 / E-mail: ito@kinka.or.jp